

# サーキット・ライダー 2005年 5月号

## くすしきみ恵み

1. くすしきみ恵みわれを救い、まよいしこの身もたちかえりぬ。
2. 恐れを信仰にかえたまいし、わが主のみ恵みとうときかな。
3. 思えば過ぎにしすべての日々、苦しみ悩みも、またみ恵み。
4. わが主のみ誓い永久にかたし、主こそはわが盾、つきぬ望み。
5. この身はおとろえ、世を去るとき、よろこびあふるるみ国に生きん。

讃美歌 21、451番:くすしきみ恵み 原題“Amazing Grace” John Newton

今日でもキリスト教の中には教派の違いが根強く存在し、それが教会同士の協力関係を妨げ、歩み寄りができない状況が歴然とあります。例えばここアメリカでもカトリックとプロテスタント、合同メソジストとアフリカン・メソジスト・エписコパル教団など相容れないものがあるように思います。更にアメリカの教会の大まかな分布図を見てみると、ニューヨーク、ニュージャージー、マサチューセッツなど東部の州やカリフォルニアなど西海岸の州の大都市圏の教会はリベラル色が強く、南部や中西部はより保守的になり、お互いに妥協できないことが結構あります。その一方、ユダヤ教、ローマ・カトリック、プロテスタント諸派は集まって合同礼拝をしたり、コンサートをしたり、人権問題や平和問題など共に考えたりとエキュメニカル（超教派）な動きもあり歩み寄りの姿勢も見られます。

後者の超教派的良い部分が、ここ東部に住んで伝道に携わっている日本語教会、伝道所にも見られます。例えばここニューヨーク、ニュージャージーに住んで信仰生活を送っていると、日本では教派が違う為なかなか出会うことがないような方々と出会い、他教会と共に宣教活動をすることがあります。先日も日本から「親分はイエス様」の映画で一躍有名になった千葉県船橋市のシロアム教会牧師、鈴木啓之師が訪米、東部各州を周り特別伝道集会(特伝)が開かれましたが、盛況な恵み多い集会になりました。また6月にはビリーグラハム牧師のクルセードに日本語諸教会が協力したり、来年夏には合同修養会も計画されるなど、益々、協調関係が強められそうで嬉しい限りです。日本語諸教会が個々の教会の利益や教勢の為でなく、大きな意味でこの地に住む日本語を話す方々の伝道のため力を合わせるからこそ、世界教会と呼ばれる本来のキリスト教のあり方に殉じていると私は思います。

さて今回は教会論を書く積りではなく上述の鈴木啓之牧師の特伝から感じた事を書こうと思い、冒頭にゴスペル讃美として有名な「くすしきみ恵み」"Amazing Grace"を引用しました。鈴木牧師の人生とAmazing Graceの作者、ジョン・ニュートンの生涯が重なったからです。鈴木牧師は17歳からヤクザの世界に入り、その後17年間、極道放題の人生を歩みましたが、大金が絡む失敗をし、組から命を狙われるようになり逃亡者となります。逃亡に疲れ、たまたま逃げる途中で入った教会で牧師の説教に反発を感じ、牧師に文句を言おうと、話し掛けたが、話しているうちに、いつのまにか泣き崩れて牧師の足元にひざまずき回心に導かれたそうです。文字通り神はわが避け所、悩める時のいと近き助け〔詩篇 46篇1節〕となったわけですが、神様のなさる事は人智を超えていると改めて思いました。その回心の折、鈴木牧師の心に、これまで散々虐待してきた奥さんの顔、祈る姿が心の中に浮かんだとのこと。お話を伺って「愛する者の為の執り成しの祈りは強い！」と思いました。

Amazing Graceの作者、イギリス人、ジョン・ニュートンの人生も鈴木先生同様波乱万丈でした。18世紀、アメリカがまだイギリスの植民地だった時代、裕福だった恋人とその両親に認められて、手取り早く富みを得ようと奴隷船の船長となり、あくどい商売に手を汚します。しかしその仕事を卑しまれ、恋人から見放され、彼は落ちるところまで落ちていきます。荒くれ水夫と喧嘩して怪我をしたり、嵐で奴隷を積んだ（乗せたではない）船が難破しそうになったり、幾度となく命の危機にさらされます。歌詞を御覧下さい。1番、「迷いしこの身も立ち返りぬ」3番、「過ぎにしすべての日々、苦しみ悩みもまた恵み」と自分の犯した罪深い奴隷船船長時代のことを思い返し、苦しみや悩み、恐れさえ、神によって恵みに変えられたと歌っています。この「くすしきみ恵み」は理屈を超えて多くの人に歌われています。奴隷として虐待された人々の子孫、アフリカ系アメリカ人の教会で最も讃美をされている歌がこのAmazing Graceです。イエス・キリストの恵に触れて本当の回心を経験した人の証は、本来なら相容れない立場の人達さえ変えてしまう「神の恵み」があります。主の御名は誉むべきかな！ 吉松 純

\* 礼拝：午後4時。Jr.教会（教会学校）：午後4時時、礼拝に出席後、分級に進みます。

\* 祈りたい方の為に礼拝堂を午後3時30分より開放しています。どうぞご利用ください。

\* 聖日予定：

5月 1日：自由祈禱会、Jr.教会：畑作業、苗上、聖餐式礼拝。

8日：自由祈禱会、Jr.教会：母の日のクラフト、言葉集め「青」、礼拝、司会：荒美俊三兄。

15日：自由祈禱会、Jr.教会：クッキング、(畑作業)、聖日礼拝、司会：荒美俊三兄。

22日：自由祈禱会、Jr.教会：ユーリズミー、司会：荒美和子姉。

29日：自由祈禱会、Jr.教会：色塗り「紫」、畑作り、私たちにできる奉仕。

6月 5日：自由祈禱会、Jr.教会：野草を使って押し花作り、聖餐式礼拝。

\* 集会、行事予定と報告

\* 5月 6日（金）午後7時30分より、日本語オフィスにて聖書の学び。詩篇、前半

\* 5月19日（木）午後1時より、Fort Lee, Bethany UMCにてティータイム・フェローシップ。箴言より親子教育を学びます。Bethany UMCはメイン・ストリートに面しパリジェンヌより2ブロック西にあります。どうぞお誘い併せの上お出かけ下さい。

\* 5月27日（金）、午前10時30分より、牧師館にて聖書の学びがあります。ヤコブの手紙とコヘレトの言葉（伝道の書）から学びます。どうぞご参加下さい。

\* おめでとうございます。

\* 5月8日、坂口泉姉がLong Island Universityの大学院を卒業し図書館司書の修士を取得されます。おめでとうございます。

\* 御協力お願い致します。献金の宛名はUMC-JAでお願いします。

\* インドネシア沖地震と津波の被害国への救援献金を始めました。現在、インドの教会及び被害者への直接送金及び被害の最も大きかったインドネシアへの送金を計画しています。ご協力お願いします。

\* 新潟中越地震の被災者の方々への救援献金をお願いします。現地の教会を通して被災者の方へ送ります。

\* ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

\* 使用済み切手を集めています。ご協力下さい。消印のついた切手の周り1センチくらいの余白を残して切とって下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC Sは切手を換金し得られた収益金で海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

\* HOPE（The Heart of Pediatric Electrophysiology）というボランティア団体にもご協力下さい。

Electrophysiologyという特有の心臓病を患う子供を救う為、寄付金を募り患者や家族に送ったり、病院などの情報交換をしています。募金を下さる方はあて先をHOPEとしてください。

\* 一昨年よりケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

\* パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス（201）391-5499 日本語及びファックス（201）505-0347

ホームページ：<http://umc-japan.org> 吉松牧師宅（201）391-2208 [pastor@umc-japan.org](mailto:pastor@umc-japan.org)

教会学校担当：松尾タカエ姉（201）802-1769 [takae17A@AOL.com](mailto:takae17A@AOL.com)